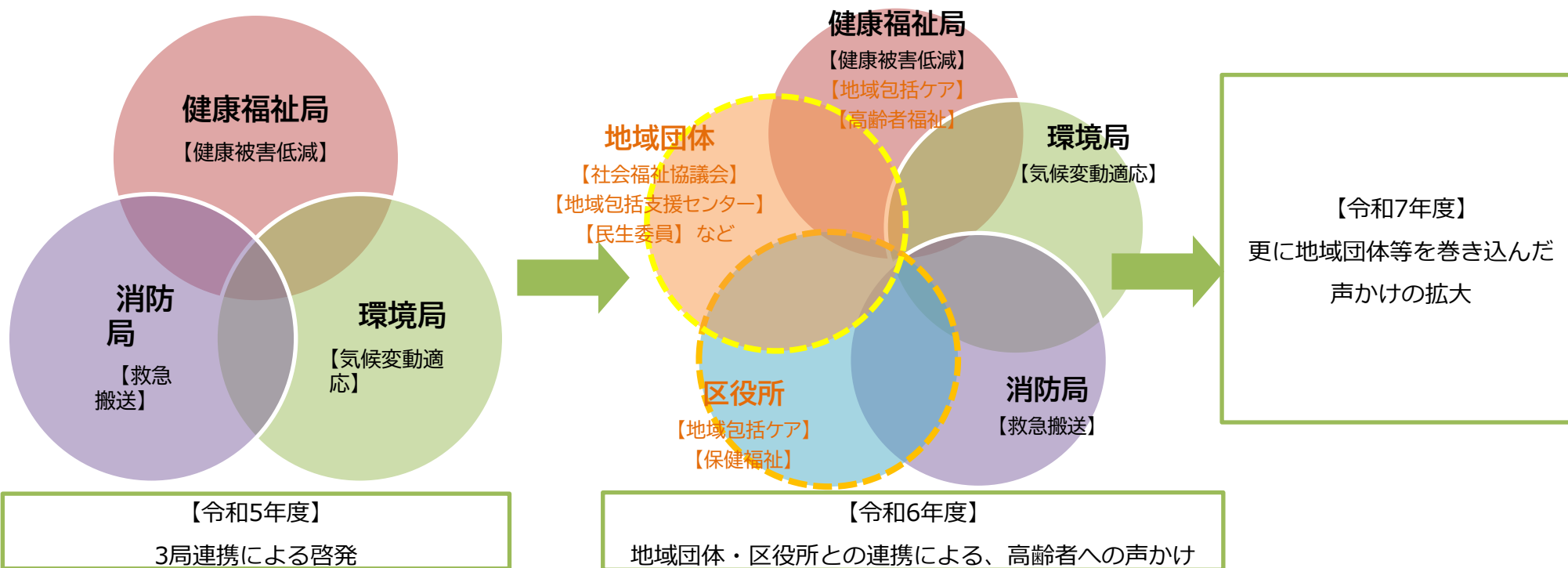


神奈川県川崎市 地域一体型の熱中症対策の推進

- 熱中症による救急搬送者の半数を占める高齢者への熱中症対策が急務であり、地域の声かけによる啓発を展開するため、①令和5年度以前は川崎市3局（健康福祉局、健康福祉局、消防局）連携体制を構築し、②令和6年度は健康福祉局 地域包括ケア推進室や高齢者在宅サービス課等との協力・連携体制の構築を行った。
- 令和7年度では、NPO、ボランティア団体や民生委員・児童委員協議会等との更なる協力・連携体制を拡充していく予定である。



■ 苦労した点

- ・ 高齢者を対象とする施設や活動、地域で活動する団体・ひと（点）とのつながりを線をつないでいく作業
- ・ 地域に存在する多数の点を把握することから始まり、会合などに出向いて、関係づくりをすることにより線で結ぶことに大変苦労した。

■ 工夫した点

- ・ まずは、既存の人脈から点を線で結んでいき、そこから紹介等を通じて、他の点を線で結んでいくことを行った。
- ・ 既存で活動しているひとたちの過度な負担とならないよう、依頼事項を絞ってなるべく簡素で分かりやすい取組とした。